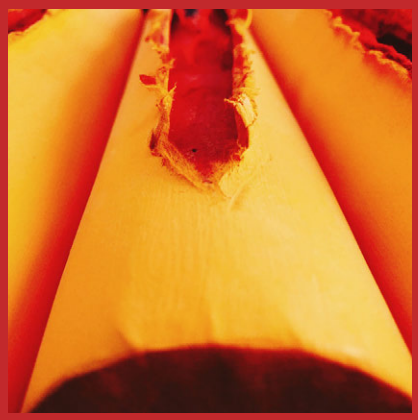
LE ROUGE MATSUMIYA

和紙と油絵具の融合



ギャラリー ネクスティ、2018年12月10日営業開始。

当社では　新たにコンテンポラリー・アート・ギャラリーも開廊することになりました。

かねてより、アート事業にも挑戦するとともに、アートに囲まれた仕事環境にもしたいと考えていましたところ、幸運なことに、『2005年 日本国際博覧会』からご縁があるアーティストの松宮喜代勝先生のプロデュースとアート作品のギャラリーをさせていただくことになりました。

あの狭いオフィスで、と驚かれる方も多いかと思いますが、8階の当社ロビーと会議室をギャラリーに模様替えして、松宮アート作品の大小あわせて約80点を展示いたしております。執務室では従来通りの業務は行いつつも作品倉庫を兼ねるほどの日本最小級ギャラリーですが、雲肌麻紙と油絵具が融合する呼吸するアート作品をゆっくりと鑑賞していただける環境になりました。「はたらけるギャラリー」です。どうぞお気軽にご来廊くださいますようにお願いいたします。

株式会社ネクスティ
東京都港区南青山1-15-15
乃木坂パークフロント801
●乃木坂駅3番出口から徒歩3分
●青山一丁目駅から徒歩9分
●六本木駅から徒歩10分
Tel. 03-6455-5220
Fax : 03-6455-5221
E-Mail:info@nexti.tokyo
営業時間
月曜～金曜・11:00 ～19:00
土曜・ご予約のお客様　日祭日・休業

GALLERY NEXTI

主な作品シリーズ

大地の呼吸シリーズ

「土（土地）を触ると、土の肌と感触が色々な記憶と新しい驚きを与えてくれます。
あきること無い、土の包容力は、いたずらも許してくれますが、大地との共生なしには、命を保証してくれません。
大地（土）を手にし、大地の呼吸を確認しながら、私の全ての力を土に託すとそこには、命の証と命の絆が生まれます」M

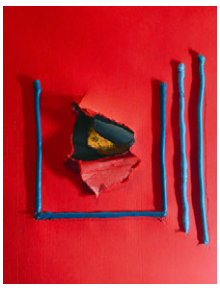
彩相Ⅲシリーズ

「軽い和紙と、重い鉄との組み合わせは、意外とフィットします。
やや、礼儀正しい作品、Ⅰシリーズの作品がかもし出すものとは異なって、“おもしろみ”がある作品になっていると思います。
小さい作品でも、相当重い作品ですが、この重量感も大切な要素です」M

彩相Ⅰシリーズ

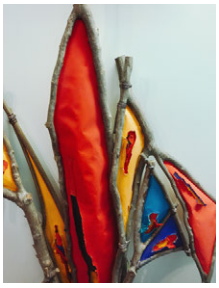
「彩相とは、色の呼吸のことです。色の顔です。少し専門的な言い方をすれば、色の位相（トポロジー）作品です。砕けて言えば、色の生き方です。単色ごとに、和紙に塗り込めた油絵具が、何層にも重なっています。最後に、あまり切れの良くない出刃包丁に、祈りを込めて、一気に破ると彩相が生まれます。今までに見たことがない色の音楽（呼吸）が発生したら、“作品”になります」M

彩相Ⅱシリーズ



「彩相シリーズの基本は、和紙と油絵具が融合することです。
彩相Ⅱシリーズは、そこにたし算が加わったものです。
良くも悪くも。良く言えば、音色が発生します。
悪く言えば、余計な味付け。しかし、味付けが絶対の折は、目に止まる作品になります」M

彩相Ⅳシリーズ



「小学生の頃は、よく近くの山で遊んだものです。栗ひろいが一番の目的で、次にアケビです。そして、ターザンごっこと言うパターンでした。
今、想うに、結構危険な遊びです。崖を登り、まだ誰も足を踏み入れたことの無い場所こそが、最大の魅力の場所です。木の枝を掴みながら、山の中を駆け巡るおり、やはり木の枝が折れます。一歩間違えれば、谷底へ落ちます。そんな記憶と感触が加わった作品が、彩相Ⅳシリーズです」M

雅（みやび）シリーズ

「多忙な日常生活を送り、疲れの溜まっている方々に、『やすらぎ』を得て頂きたく、アートオブジェを作りました。地元の和紙とその原料『こうぞ』を使って、触ってみたくなる質感を持つオブジェを、ひとつひとつ、手作りしています。
昼間は、和紙が発する『白い呼吸』を楽しんで頂き、夜には、オブジェにセットされている7色に変化する電池式LEDを点灯すれば、『癒しの世界』が訪れます」M

松宮喜代勝略歴

1951 年　福井県生まれ
1981 年　第 1 回平行芸術展出品（東京）
1985 年　第 3 回吉原治良賞美術コンクール出品；優秀賞受賞（大阪）
1988 年　和紙と現代美術展出品（イタリア）
1990 年　大飯町きのこの森公園総合プロデュースに就任（94 年完成）
　　日本の作家 3 人展出品（ベルギー）
1992 年　朝日町古墳公園内に野外レリーフ（42m）を制作（福井）
1994 年　奥阿賀ふるさと館壁面に 1200 ㎡のレリーフ設備（新潟）
1998 年　個展（クラコフ日本美術技術センター；ポーランド）
2000 年　個展（西宮市大谷記念美術館；兵庫）
2000 年　大地の芸術祭―越後妻有アートトリエンナーレ 2000－出品
2001 年　個展（MAISON DU　CHEVALIER；フランス）
2003 年　個展（Westwood Gallery；ニューヨーク）
　　Aspect of Asia 展 出品（ドイツ）
2003 年　大地の芸術祭―越後妻有アートトリエンナーレ 2003－にて
2005 年　愛・地球博に　地球と握手『大地の呼吸』出品（愛知）
2006 年　愛・地球博 1 周年記念イベントに地球と握手
　　『愛・地球博での出会い』制作展示（愛知）
2006 年　『愛・地球博での出会い』を福井県小浜市小浜公園山頂に設置
2009 年　大地の芸術祭“地球と握手 in 妻有 2009”
　　出品とワークショップ水と土の芸術祭に
　　“地球と握手 in とやの潟の呼吸”出品（新潟市）
2010 年　登米アートトリエンナーレで“三角の風”制作 2010 年
　　“地球と握手 in 上海万博”日本館での出会い（上海万博日本館）
2012 年　宮城県南三陸町・志津川小学校に卒業ミニモニュメント
　　福井市順化小学校と宮城県鹿折小学校にミニモニュメント制作
　　福井県鯖江市惜陰小学校に、開校140年記念モニュメント制作
2013 年　「東北の復興から発展へ」ワークショップ②登米市、気仙沼市
　　「地球と握手活動記録展」福井市、鯖江市、宮城県登米市
　　「地球と握手東北の復興から発展へ」気仙沼市面瀬小学校開校
　　30 周年記念モニュメント
　　「地球と握手・心の宅急便　（小浜市、新潟市、登米市）
2014 年　「地球と握手・平和の握手」ワークショップ　（敦賀市）
　　「地球と握手 in ポーランド平和の握手」ワークショップ
　　（クラクフ等 3 都市）
2015 年　「地球と握手・心のサポート in 静岡」（静岡市）
　　「ル・ルージュ・マツミヤ・松宮の赤」
　　アトリエ・ギャラリー・蔵・庭での自宅展（5 月）
2016 年　「地球と握手 in 高浜」福井県高浜町新庁舎レリーフ